

## とうきょうすくわくプログラム活動報告書 年長児

### テーマ『 砂場の海 』

#### 《テーマ設定理由》

夏休み等でプールや海に行くと想定。  
日頃から水や泥に触れる機会が多い。

#### 《環境設定・準備したもの》

砂場  
水・タライ・バケツ・スコップ等

#### 《活動スケジュール》

7月28日	水を流し水たまりができるのか試す
8月4日～	水と砂で海をつくる



活動①：夏の水遊び期間。水遊びコーナーから砂場に水が流れていき、水たまりになっていたことに気づく。「もっと大きな水たまりを作ろうよ！」と水道から水を汲み、水たまりを広げていくことにしたところで「海みたいに見えてきた！」と海に行った経験のある児からの言葉から海づくりへと発展していきました。



活動②：海づくりへと変化してからは水を運ぶ人・穴を掘る人と役割が分担され、日々から作り上げていた。大きな海へ高い所からジャンプをし、はじく水を楽しんだり、水の入り口を変化させグネグネ道からの水の通りを楽しんでいた。砂場自体が湿っていないと水を吸収してしまい中々水がたまらないことに気付く。「もっと深く掘ればいいんだ！」「水の量を増やそう！」と暑さから乾きやすい砂場を試行錯誤しながら海づくりに励んでいた。



#### 《振り返り・気付き》

日頃から水や泥に触れていたもので「こうしてみたい！」と子どもたち同士でのやり取りが多く、主体的に取り組むことができたのは良かった。遊びの中で「なぜ水がたまらないのか」という疑問を持ち、「深く掘ればいいんだ」と実践して確かめ、子どもたちが自分たちで考え学んでいく姿が生き生きとしていて、子ども主体で広がる遊びは探求心が育っていくことがわかった。